
人格育成 増補

Character Building
Supplement

中級
Juniors

J. J. リム 著
by J.J. Lim

麻希・ヴァンダホフ 訳
Translated by Maki Vanderhoff

魚本つる子 校閲
Proofread by Tsuruko Uomoto

人格育成
増補
Character Building
Supplement

中級Ⅱ

Juniors II

J. J. リム 著
by J.J. Lim

デヴィッド・ヒッグズ牧師から有益な提案をいただきました。

麻希・ヴァンダホフ 訳
Translated by Maki Vanderhoff

魚本つる子 校閲
Proofread by Tsuruko Uomoto

2013年版

Character Building Supplement

By Ps. J.J. Lim:

With helpful contributions by Ps. David Higgs

©2013 by Pilgrim Covenant Church

First published 2011

Second edition 2013

Published by Gratia Dei Sola Media

Blk 203B, Henderson Road, #07-07, Singapore 159546

Website : www.gdsmedia.org

Email : gdsmedia.sg@gmail.com

All rights reserved Printed in Singapore

聖書 新改訳©2003 新日本聖書刊行会 許諾番号 3-2-667 号

目次

まえがき

第1課： 愛

第2課： 喜び

第3課： 平和

第4課： 信仰

第5課： 注意深さ

第6課： 神さまに対する従順

第7課： 敬うことと従うこと

第8課： へりくだり

第9課： 柔和

10課： 誠実

第11課： 無私と思いやり

第12課： 満ち足りること

第13課： 感謝

第14課： 赦し

第15課： 怒り

第16課： 忠実と責任感

第17課： 忠誠

第18課： 秩序と規律

第19課： 忍耐と辛抱

第20課： 勤勉さと根気強さ

第21課： 知恵

第22課： 個人的な^{きよ}聖さ

第23課： 節制と自制

第24課： よく祈ること

第25課： 識別力

まえがき

指導の方法として、機械的に暗記させることはしばしば、残酷なことと考えられることがあります。しかし、聖書は「健全なことばを手本にする」（テモテ第二1：13）だけでなく、みことばを暗記するように私たちに教えています。というのは、ダビデがこう言っているからです：「あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。」（詩篇119：11）それに加えて、経験から言えることですが、子供の頃に暗記したことは、大抵のばあい生涯を通して覚えているものです。

他の最も優れた改革派教会と同様に、PCCの問答のクラスで、機械的な暗記に力を入れているのは、こういうわけです。もちろん可能なかぎり、子供達が暗記している内容を理解していることを確かなものにしたいと思っています。しかし現実には、子供達が暗記する能力は、しばしば理解する能力よりも進んでいることが多いのです（子供達の読む能力が、大抵、理解する能力より進んでいるのと同じことです）。ですから、幼い頃覚えた問答や聖句はしばしば心の表面にしか届かないことをよくよく承知したうえで、できるだけ早めに、子供達に暗記し始めるように勧め、訓練することがよいのです。それは、神さまが彼らの心に恵みを働かせ始める時に（まだ幼いときであるかもしれません）、彼らの記憶に残っていることばが、心深くに沈んでくれることを信じてのことです。それはまるで、春の最初の太陽の光が氷を溶かすと、湖の氷上にあった石が湖の中深くに沈んでいくようにです。主は私たちに、聖霊様の役割の一つは、私たちの学んだことを思い起こさせることだと教えてくださらなかったでしょうか（ヨハネ14：26）

この人格育成をテーマとする新しい小冊子は小学校三年生もしくは四年生が（聖書歴史問答の最初の二つのレベルを終了した後に）使用するようになっています。もちろん、人格育成はただ単に暗記によってなされるものではありません。しかし、これらの聖句は、私達の子供達が経験と御言葉の適用によって人格を形成していくなかで、優れた土台を与えてくれるでしょう。子供達が少なくとも質問に対する答えを暗記するようにお勧めします（長いダッシュ記号の前の文です）；そして、可能であれば、父親の判断によって、その根拠となる聖句も暗記させたらよいでしょう。

親御さん、特に父親は、子供達が理解し、生活に適用する助けとなるかもしれない適切な経験を分かち合うと共に、該当聖句を説明する時間を取ることをお勧めします。また、子供自身の聖書に、該当の聖句に記しを付けさせることもお勧めします。これは子供が後に、覚えた聖句がどこであるか正確に思い出せなくなった時にも、自分の聖書の中で難なく見つけることができるようにするためです。

日曜学校の問答クラスの教師は、子供達を指導していく上で補足の役割を担っている、と考えられるべきです。教師は子供達が学んだことを話し合う時間を与えたり、すでに学んだレッスンをさらに確実に覚えさせるようにします。子供達が暗記した聖句を、一人一人個人的に復習もします。補足的な勉強として、（親御さんに見てもらいながら）子供達が、翌週のテーマに

ついて100語程度の作文を書くようにお勧めします。とはいっても、何か他の宿題を出すかどうかは、先生方がご自分で判断されるのもよいでしょう。

ご両親や先生方はもちろん、それぞれの子供にあった基準を自由に判断することをお勧めします。子供達の成長の速さはそれぞれ違いますので、聖書一頁すべてを暗記しなくてはならないとすると、それが難しすぎる子供達もいます。ご自分の子供がこのケースであるばあいには、先生にどの聖句を覚えることが出来たのかを知らせてください。そうすると、先生はあなたの子供と、その聖句だけを復習することができます。同じように、作文を書くことは難しすぎる子供達もいます。どのようなばあいであっても、学習体験が苦しいものではなく、豊かなものにしてあげなくてははいけません。主が御霊によって私達の努力と目標を祝福して下さいますように。そして、暗記され受け入れられた御言葉が、契約の子供達の信仰と結び合され、私達の主キリストの栄光への実を实らせますように。

--JJ リム

2002年11月15日；2005年5月27日

第 1 課

愛

問1. 1 一番大事な命令は何ですか。

完全に神さまを愛することです。——「一番たいせつなのはこれです。『イスラエルよ。聞け。われらの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』」（マルコ12：29～30）

問1. 2 二番目に大事な命令は何ですか。

他の人を自分自身のように愛することです。——「次にはこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』この二つより大事な命令は、ほかにありません。」（マルコ12：31）

問1. 3 新しい戒めは何ですか。

キリストが私たちを愛してくださるように、信者同志愛し合うことです。——「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」（ヨハネ13：34～35）

問1. 4 愛は大切な徳ですか。

はい、愛がなければ、私は無に等しいのです。——「山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、何の値打ちもありません。また、たとえ私が持っている物の全部を貧しい人たちに分け与え、また私のからだを焼かれるために渡しても、愛がなければ、何の役にも立ちません。」（コリント第一13：2b～3）

問1. 5 あなたはだれを愛さなくてはなりませんか。

私の敵をも含めて、すべての人です。——「しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」（マタイ5：44）

問1. 6 あなたはだれから、どのように愛するかを学ぶべきですか。

愛の最高の模範である主イエスさまからです。——「キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。」

(ヨハネ第一三：16)

問1. 7 あなたはどのように愛さなければなりませんか。

ことばと行いによつてです。——「世の富を持ちながら、兄弟が困っているのを見ても、あわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているでしょう。子どもたちよ。私たちは、ことばや口先だけで愛することをせず、行ないと眞実をもって愛そうではありませんか。」(ヨハネ第一三：17～18)

問1. 8 教会のだれかを嫌ってもいいですか。

いいえ、私の兄弟たちすべてを愛さなくてははいけません。——「神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。」(ヨハネ第一四：20)

問1. 9 もしだれかがあなたを怒らせることがあつても、その人を愛さなくてははいけませんか。

はい、愛は多くの罪をおおいます。——「何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。」(ペテロ第一四：8)

問1. 10 これは、愛は盲目である、ということでしょうか。

いいえ、「(愛は)不正を喜ばずに眞理を喜びます。」(コリント第一一三：6；参照レビ記一九：17)

第 2 課

喜 び

問2. 1 喜びにあふれているのはだれですか。

クリスチャンは皆、喜びにあふれていなくてははいけません。——「正しい者たち。主にあって、喜び、楽しめ。すべての心の直ぐな人たちよ。喜びの声をあげよ。」（詩篇32：11）

問2. 2 私たちはいつ、喜んでいるべきですか。

いつでもです。——「いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。」（ピリピ4：4）

問2. 3 本当の喜びは、どこで見つけることができますか。

神さまの御前にです。——「あなたは私に、いのちの道を知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。」（詩篇16：11）

問2. 4 なぜあなたは喜んでいるべきなのですか。

私たちが救ってくださる主を知っているので、喜んでいるべきなのです。——「わたしは主によって大いに楽しみ、わたしのたましいも、わたしの神によって喜ぶ。主がわたしに救いの衣を着せ、正義の外套をまとわせ…てくださるからだ。」
(イザヤ61：10；参照 ローマ5：11)

問2. 5 喜んでいるためには、どのような態度でいなくてはなりませんか。

柔和で、へりくだっていないなくてははいけません。——「へりくだる者は主によっていよいよ喜び、貧しい人はイスラエルの聖なる方によって楽しむ。」
(イザヤ29：19)

問2. 6 困難な時でも、喜びで満たされていることはできますか。

はい、神さまが私のうちに恵みを働かせてくださっているからです。——「私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。3 信仰が試されると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。」（ヤコブ1：2～3；参照 ペテロ第一：6）

問2. 7 あなたの周りの人たちは世のことに楽しみを見出しています。あなたもそれに参加すべきですか。

彼らが神さまを不快にさせるようなことをしているのであれば、すべきではありません。——「若い男よ。若いうちに楽しめ。若い日にあなたの心を喜ばせよ。あなたの心のおもむくまま、あなたの目の望むままに歩め。しかし、これらすべての事において、あんたは神のさばきを受けることを知っておけ。」（伝道者の書11：9）

問2. 8 喜んでいる、というのは、ふざけたり、冗談を笑ったりすることですか。

健全な冗談を笑うことは悪いことではありませんが、本当の喜びは、すべてのことについて主に感謝することにあるのです。——「愚かな者の笑いは、なべの下のいばらがはじける音に似ている。これもまた、むなし。」（伝道者の書7：6）

問2. 9 遊んでいる時にも、喜びで満たされることが出来ますか。

はい、もちろんです。健全な娯楽について、主に感謝すべきです。——「陽気な心は健康を良くし、陰気な心は骨を枯らす。」（箴言17：22）

問2. 10 遊んでいない時には、どのように喜びで満たされていることが出来ますか。

「すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行う。」ことによります。
(ピリピ2：14)

第 3 課

平 和

問3. 1 神さまは私たちが平和であることを求めておられますか。

はい、神さまは平和の神さまですから、私たちも平和であることを求めておられます。——「そういうわけですから、私たちは、平和に役立つことと、お互いの霊的成長に役立つこととを追い求めましょう。」（ローマ14：19）

問3. 2 平和である、とはどういうことですか。

だれとも争わない、ということです。——「しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。義の実を結ばせる種は、平和をつくる人によって平和のうちに蒔かれます。」（ヤコブ3：17～18）

問3. 3 しかし、相手がけんか早い人のばあい、あなたはどのようにしたら平和でいられるのですか。

自分が平和を保っていれば、ほかの人は気にするべきではありません。——「あなたがたは、自分に関する限り、すべての人と平和を保ちなさい。」（ローマ12：18）

問3. 4 友達同士がけんかしていたら、あなたには何ができますか。

平和をつくる人になるように努力します。——「平和をつくる者は幸いです。その人は神の子どもと呼ばれるからです。」（マタイ5：9）

問3. 5 あなたに同意しない人たちとは、どのように平和を保つことができますか。

へりくだって柔和であることによってです。——「謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなで結ばれて御霊の一致を熱心に保ちなさい。」（エペソ4：2～3；参照 テモテ第二2：24～25）

問3. 6 家庭が平和であることは大切なことですか。

はい、クリスチャンの家庭は平和でなくてははいけません。——「一切れのかわいたパンがあって、平和であるのは、ごちそうと争いに満ちた家にまさる。」
(箴言17:1)

問3. 7 教会での平和は大切ですか。

はい、神さまは教会に一致と平和があることを喜ばれます。——「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんといいしあわせ、なんといい楽しさであろう。」
(詩篇133:1)

問3. 8 どのようにすれば教会は平和を深めることができますか。

だれとも争わないようにし、平和のために祈ることです。——「悪を離れ、善を行なえ。平和を求め、それを追い求めよ。」(詩篇34:14)；「エルサレムの平和のために祈れ。おまえを愛する人々が栄えるように。」(詩篇122:6)

第 4 課

信 仰

問4. 1 信仰とは何ですか。

信仰とは信じることです。——「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」（ヘブル11：1）

問4. 2 信仰は大切ですか。

はい、信仰がなくては、神さまを喜ばせることはできないからです。——「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならないのです。」（ヘブル11：6）

問4. 3 信仰はすべての人が生まれながら持っているものですか。

いいえ、生まれながらの人は、信仰を持っていません。——「あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって…。あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。」（エペソ2：1、8）

問4. 4 神さまはだれに信仰を与えられるのですか。

ご自分の選ばれた人々です。——「そして、永遠のいのちに定められていた人たちは、みな、信仰にはいった。」（使徒13：48b）

問4. 5 信仰とは信じることですが、私たちは具体的に何を信じなければならないのですか。

私たちは自分の救いのために、主イエス・キリストを信じなければなりません。——「しかし、人は律法の行ないによっては義と認められず、ただキリスト・イエスを信じる信仰によって義と認められる、ということを知ったからこそ、私たちもキリスト・イエスを信じたのです。これは、律法の行ないによってではなく、キリストを信じる信仰によって義と認められるためです。なぜなら、律法の行ないによって義と認められる者は、ひとりもないからです。」（ガラテヤ2：16）

問4. 6 信仰にあって、どのように成長することができますか。

神さまのみことばを聞き、祈ることによってです。——「そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」（ローマ10：17）；「信じます。不信仰な私をお助けください。」（マルコ9：24b）

問4. 7 俺の信者や、信じている振りをしている人たちもいますか。

はい、世の中にはたくさんいます。——「岩の上に落ちるとは、こういう人たちのことです。聞いたときには喜んでみことばを受け入れるが、根がないので、しばらくは信じていても、試練のときになると、身を引いてしまうのです。」（ルカ8：13；参照 マタイ13：20～21；使徒8：13、20～23；使徒26：27～28）

問4. 8 祈りには、信仰が必要ですか。

はい、神さまは信仰のない祈りに答えてくださいません。——「あなたがたが信じて祈り求めるものなら、何でも与えられます。」（マタイ21：22）

問4. 9 クリスチャン生活には、信仰が必要ですか。

はい、信仰がなくては、私たちは世に飲み込まれてしまいます。——「私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。」（ヨハネ第一5：4b～5）

第 5 課

注意深さ

問5. 1 私たちは、(耳、目、心において)注意深くしているように命じられていますか。

はい；ソロモンが私たちに注意深くしているように教えています。——「わが子よ。私のことばをよく聞け。私の言うことに耳を傾けよ。それをあなたの目から離さず、あなたの心のうちに保て。」（箴言4：20～21）

問5. 2 注意深さをだれから学ぶことができますか。

注意深さの一番よい模範である主イエスさまからです。——「そしてようやく三日の後に、イエスが宮で教師たちの真中にすわって、話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。」（ルカ2：46）

問5. 3 私たちは、特にだれに対して注意を払わなくてはなりませんか。

特に主イエスさまに注意を払わなくてははいけません。——「わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわたしは彼らを知っています。そして彼らはわたしについて来ます。」（ヨハネ10：27；参照 3～4節）

問5. 4 どのようにして、主に対して注意を払っていることができるのですか。

喜んで神さまのみことばに耳を傾け、受け入れることによってです。——「このユダヤ人[ベレヤの人々]は、テサロニケにいる者たちよりも良い人たちで、非常に熱心にみことばを聞き、はたしてそのとおりかどうかと毎日聖書を調べた。」
（使徒17：11；参照 テサロニケ第一2：13）

問5. 5 みことばの説教に注意を払っていることは大切なことですか。

はい、「信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」（ローマ10：17）

問5. 6 説教で話されていることや教えられていることをすでに知っていたらどうですか。

それでも、新しく学べることや、思い出すべきことは常にあるので、注意して聞いていなくてははいけません。——「ですから、立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。」（コリント第一10：12）

問5. 7 聞いたことをすべて信じなくてはなりませんか。

いいえ、聖書の教えにそっていることだけを信じなくてははいけません。——「すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。」（テサロニケ第一5：21）

問5. 8 注意深くしていることができなったらどうですか。

注意深くしていることができないと、主から祝福をいただくことができません。——「だから、聞き方に注意しなさい。というのは、持っている人は、さらに与えられ、持たない人は、持っていると思っているものまでも取り上げられるからです。」
(ルカ8：18)

問5. 9 他の人に対しては、どのようにして注意を払っていることができるのですか。

語るにはおそく、聞くには早くすることによってです。——「愛する兄弟たち。だれでも、聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。」（ヤコブ1：19）

第 6 課

神さまに対する従順

問6. 1 聖書のなかで、神さまに対する従順が命じられていますか。

はい、聖書のいたるところで、神さまに従順であるように命じられています。——
「あなたがたの神、主に従って歩み、主を恐れなければならない。主の命令を守り、御声に聞き従い、主に仕え、主にすがるなければならない。」（申命記13：4；参照 伝道者の書12：13）

問6. 2 クリスチャンは、この世のだれよりも、もっと神さまに従わなくてははいけませんか。

はい、神さまの民として、私たちは特に神さまに従わなくてははいけません。——
「今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。」（出エジプト19：5；参照 申命記7：9）

問6. 3 しかし、特にクリスチャンが神さまに従わなくてはならないのはなぜですか。

クリスチャンは特に、神さまが私たちがキリストにあって救ってくださったのですから、神さまへの感謝と愛の気持ちから従わなくてははいけません。——「9しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。10あなたがた、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。」（ペテロ第一2：9～10；参照 同5節；コリント第一6：19～20、ローマ6：13、12：1～2）

問6. 4 だれから従順を学ぶことができますか。

特に主イエス・キリストからです。——「キリストは御子であられるのに、お受けになった多くの苦しみによって従順を学び、」（ヘブル5：8）

問6. 5 従順は大切なことですか。

はい；礼拝のすべての宗教的行為よりも、ずっと大切なことです。——「するとサムエルは言った。『主は主の御声に聞き従うことほどに、全焼のいけにえや、その他のいけにえを喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。』（サムエル第一15：22）

問6. 6 もしあなたが神さまの律法を重んじなければ、どうなりますか。

私の祈りは神さまにとって憎むべきものとなります。——「耳をそむけておしえを聞かない者は、その者の祈りさえ忌みきらわれる。」（箴言28：9）

問6. 7 ある命令には従うが、他の命令には従わないということはできますか。

いいえ；主の助けによって、すべての律法に喜んで従わなくてははいけません。——「あなたがたは、あなたがたの神、主が命じられたとおりに守り行ないなさい。右にも左にもそれではならない。」（申命記5：32）

問6. 8 神さまにもっと従順になりたいと思うのであれば、どうしたらよいですか。

もっと恵みを祈り求めなくてははいけません。詩篇作者が祈ったように、祈らなくてははいけません。「私に悟りを与えてください。私はあなたのみおしえを守り、心を尽くしてそれを守ります。」（詩篇119：34；参照 詩篇143：10）

問6. 9 従うことなしに、信仰を持つことができますか。

いいえ、従順を伴わない信仰は死んでいます。——「また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。」（ヤコブ1：22；参照 同25節）

問6. 10 神さまに従わずに、神さまを愛することができますか。

いいえ、神さまを愛するとは、神さまの律法を守ることです。——「神を愛するとは、神の命令を守ることです。その命令は重荷とはなりません。」（ヨハネ第一5：3；参照 ヨハネ14：15）

第 7 課

敬うことと従うこと

問7. 1 権威を敬うことは聖書のなかに命じられていますか。

はい、第五戒で教えられています。——「子どもたちよ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。『あなたの父と母を敬え。』（これは第一の戒めであり、約束を伴ったものです。）（エペソ6：1-2；参照 出エジプト記20：12）

問7. 2 敬うことを、だれから学ぶことができますか。

特に、主イエス・キリストからです。——「それからイエスは、いっしょに下って行かれ、ナザレに帰って、両親に仕えられた。」（ルカ2：51a）

問7. 3 どういう点で、両親に従わなければなりませんか。

あらゆる点においてです。——「子どもたちよ。すべてのことについて、両親に従いなさい。それは主に喜ばれることだからです。」（コロサイ3：20；参照 箴言1：8）

問7. 4 親に口答えをすることや、失礼な態度をとることについて、聖書はなんと言っていますか。

神さまにとって非常に憎むべきことです。——「自分の父をあざけり、母への従順をさげすむ目は、谷の烏にえぐりとられ、鷲の子に食われる。」（箴言 30:17）

問7. 5 教会の長老や牧師を敬わなければなりませんか。

はい、聖書は彼らに従い、敬わなければならないと教えています。——「あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人々は神に弁明する者であって、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆いてすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にならないからです。」（ヘブル13：17）

問7. 6 国や地方行政も敬わなければなりませんか。

はい、そうです。たとえ未信者であっても、彼らは神さまによって任命されたからです。——「人はみな、上に立つ権威に従うべきです。神によらない権威はなく、存在している権威はすべて、神によって立てられたものです。」（ローマ13：1）

問7. 7 神さまに対して罪を犯すように要求する権威にも従わなければなりませんか。

いいえ。神さまに対して罪を犯すように要求するどんな命令にも従ってはなりません。——「ペテロをはじめ使徒たちは答えて言った。『人に従うより、神に従うべきです。』」（使徒5:29）

問7. 8 教会で自分より年長の人たちを、どのように見なすべきですか。

彼らを敬い、尊敬しなければなりません。——「年寄りをしかってはいけません。むしろ、父親に対するように勧めなさい。若い人たちには兄弟に対するように、年とった婦人たちには母親に対するように、若い女たちには真に混じりけのない心で姉妹に対するように勧めなさい。」（テモテ第一5：1-2）

問7. 9 年配の人たちに尊敬の意を表す方法として、ひとつの例をあげてみてください。

彼らがこちらに歩いて来るとき、立ち上がって挨拶をすることです。——「あなたは白髪の老人の前では起立し、老人を敬い、またあなたの神を恐れなければならない。わたしは【主】である。」（レビ記19：32）

問7. 10 教会で自分と同年輩の人たちにも従わなければなりませんか。

はい、それは神さまのみこころだからです。——「キリストを恐れ尊んで、互いに従いなさい。」（エペソ5:21）

第 8 課

へりくだり

問8. 1 なぜへりくだらなければならないのですか。

聖書は私たちがへりくだるように命じています。神さまは高ぶりを憎まれるからです。——「同じように、若い人たちよ。長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。」

(ペテロ第一5：5；参照 ヤコブ4：6)

問8. 2 へりくだるとは、どういうことですか。

へりくだるとは、自分を卑下することではなく、他の人々の素晴らしいところに焦点を合わせることです。——「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。」(ピリピ2：3)

問8. 3 だれからへりくだりを学ぶことができますか。

特に主イエス・キリストからです。——「5 あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。6 キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、7 ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。8 キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。」(ピリピ2：5～8)

問8. 4 どのようにへりくだるべきなのですか。

自分よりも他の人を優れた者と思わなくてはなりません。——「兄弟愛をもって心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに人を自分よりまさっていると思いなさい。」(ローマ12：10)

問8. 5 高ぶることは罪ですか。

はい、神さまは高ぶりを憎まれるからです。——「高ぶる目とおごる心——悪者のともしびは罪である。」(箴言21：4)

問8. 6 世は「誇りがなければ成功することはできない。」といます。聖書はどう言っていますか。

聖書はこう言っています。「人の高ぶりはその人を低くし、心の低い人は誉れをつかむ。」（箴言29：23）

問8. 7 へりくだった人は、社会でうまくやっていますか。

はい、神さまがそう約束されています。——「謙遜と、主を恐れることの報いは、富と誉れといのちである。」（箴言22：4；参照 箴言15：33）

問8. 8 何かを上手にできた時に自慢することは間違っていますか。

神さまに栄光を帰するのではなく、自慢するのであれば、神さまは私の益のために、私を低くされます。——「だれでも、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされます。」（マタイ23：12）

第 9 課

柔 和

問9. 1 柔和は、クリスチャンの美德ですか。

はい、柔和は、すべての真の信者の恵みのしるしです。——「主は、ご自分の民を愛し、救いをもって貧しい者（英語訳：柔和な者）を飾られる。」（詩篇149：4）；「柔和な者は幸いです。その人は地を相続するからです。」（マタイ5：5）

問9. 2 主イエスさまは別として、これまで生きた人々の中で一番柔和であった人物はだれでしたか。

モーセは、その時代で一番柔和な人でした。——「さて、モーセという人は、地上のだれにもまさって非常に謙遜（口語訳：柔和）であった。」（民数記12：3）；しかし、今まで生きた人々の中でもっとも柔和であったのは、次のように言われた主イエスさまです：「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく（口語訳：柔和で）、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。」（マタイ11：28～29）

問9. 3 柔和とへりくだりの違いは何ですか。

柔和とは、特にだれかに脅されても、へりくだっていて優しいことです。——主イエスさまは、このようにご自分の柔和さをお示しになりました。つまり、「ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。」（ペテロ第一2：23）

問9. 4 教会において、柔和であることが大切なのはなぜでしょうか。

柔和でなければ、クリスチャンらしくありませんし、教会の一致はなくなるでしょう。——使徒パウロはこう言っています：「さて、主の囚人である私はあなたがたに勧めます。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩みなさい。謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなで結ばれて御霊の一致を熱心に保ちなさい。」（エペソ4：1～3）

問9. 5 柔和さは、養うことができますか。

はい、そして、そうすることは大切なことです。——「主の定めを行なうこの国のすべてのへりくだる者よ。主を尋ね求めよ。義を求めよ。柔和を求めよ。そうすれば、主の怒りの日にかくまわれるかもしれない。」（ゼパニヤ2：3）

問9. 6 どのようにして柔和さを養うことができますか。

常に「キリストの柔和と寛容」（コリント第二10：1）を覚えていること、また、自分の意見を他の人に押し付けないことによってです。——「主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、よく教え、よく忍び、反対する人たちを柔和な心で訓戒しなさい。もしかすると、神は彼らに悔い改めの心を与えて真理を悟らせてくださるでしょう。」（テモテ第二24～25；参照 テトス3：2）

問9. 7 柔和な人々は、この地上の人生で何を楽しむことができますか。

彼らは、行うことすべてにおいて、主によって導かれます。——「主は貧しい者（口語訳：へりくだる者）を公義に導き、貧しい者（同上）にご自身の道を教えられる。」（詩篇25：9）

第 10 課

正直

問10. 1 だれから正直さを学ぶことができますか。

主イエス・キリストからです。——「あなたがたが召されたのは、実にそのためです。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残されました。キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。」（ペテロ第一 2：21～22）

問10. 2 話すとき正直であることは大切ですか。

はい；神さまは嘘を憎まれます。——「偽りのくちびるは主に忌みきらわれる。眞実を行なう者は主に喜ばれる。」（箴言 12：22；参照 エペソ 4：25）

問10. 3 カンニングなど、不正に利益を得ることは、不正直ですか。

はい；それは、神さまの御言葉で非難されています。——「欺きのはかりは主に忌みきらわれる。正しいおもりは主に喜ばれる。」（箴言 11：1）

問10. 4 お父さんや先生が見ているときに、一生懸命頑張っている振りをするのは、正しいことでしょうか。

いいえ；絶対に振りをしてはいけません。神さまを恐れなくてはなりません。——「奴隷たちよ。すべてのことについて、地上の主人に従いなさい。人のごきげん取りのような、うわべだけの仕方ではなく、主を恐れかしくみつ、真心から従いなさい。」（コロサイ 3：22）

問10. 5 へつらうことや、おおげさに話すのは大丈夫ですか。

いいえ、神さまはへつらう舌を憎まれます。——「主が、へつらいのくちびると傲慢の舌とを、ことごとく断ち切ってくださいますように。」（詩篇 12：3）

問10. 6 過去におかした偽りや嘘を正さなくてははいけませんか。

はい；もし嘘をついたのであれば、真実をもって正さなくてはなりません。——「そのために、私はいつも、神の前にも人の前にも責められることのない良心を保つように、と最善を尽くしています。」（使途24：16；参照 コリント第二8：21）

問10. 7 正直は人生において最良の策ですか。

その通りです。——なぜなら「直ぐな人の誠実は、その人を導き、裏切り者のよこしまは、その人を破滅させる。」からです（箴言11：3；参照 箴言19：1）

問10. 8 わいろを使って、ことを成し遂げようとするのは間違っていますか。

はい、この世ではわいろがしばしば使われますが、クリスチャンはそのような不正直なやり方には抵抗しなくてははいけません。——「あなたはさばきを曲げてはならない。人をかたよって見てはならない。わいろを取ってはならない。わいろは知恵のある者の目をくらませ、正しい人の言い分をゆがめるからである。」

（申命記16：19）

第 11 課

無私と思いやり

問 11. 1 無私でいることは、聖書で命じられていますか。

はい、そのとおりです。——「自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。」（ピリピ 2：4；参照 コリント第一 10：24）

問 11. 2 無私が一番素晴らしい模範となられたのは、どなたですか。

主イエス・キリストです。——「あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。」（コリント第二 8：9）

問 11. 3 思いやりを持つとは、どういうことですか。

他の人のことを考えて、彼らに親切にしようとすることです。——「私たち力のある者は、力のない人たちの弱さをになうべきです。自分を喜ばせるべきではありません。私たちはひとりひとり、隣人を喜ばせ、その徳を高め、その人の益となるようにすべきです。キリストでさえ、ご自身を喜ばせることはなさらなかったのです。」
(ローマ 15：1～3a)

問 11. 4 思いやりを持つとは、他の人を怒らせないということですか。

いいえ思いやりを持つとは、時には他の人の過ちを正すことが必要なこともあります。——「また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。」（ヘブル 10：24；参照 ローマ 14：19）

問 11. 5 礼儀正しいことは、クリスチャンの美德ですか。

はい、礼儀正しいことは、思いやりの一部です。——「最後に申します。あなたがたはみな、心を一つにし、同情し合い、兄弟愛を示し、あわれみ深く、謙遜でありなさい。」（ペテロ第一 3：8）

問11. 6 私たちはお互いに助け合う必要がありますか。

もちろんです。私たちの主であるキリストが私たちに、互いに仕え合うようにと教えておられます。——「それで、主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。」（ヨハネ13：14）

問11. 7 互いに助け合うとは、どういう意味ですか。

互いの重荷を負い合う、ということです。——「互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。」（ガラテヤ6：2）

問11. 8 助け合うことと思いやりを持つことの例を挙げてください。

貧しい人に施すことと、もてなしをすることです。——「聖徒の入用に協力し、旅人をもてなしなさい。」（ローマ12：13）

問11. 9 感謝をしてくれない人をも助けなければなりませんか。

はい、主が私たちに「受けるよりも与えるほうが幸いである。」と教えておられるからです。（使徒20：35）

第 12 課

満ち足りること

問12. 1 満ち足りることは、聖書で命じられていますか。

はい、第十の戒めで命じられています。——「あなたの隣人の家を欲しがってはならない。すなわち隣人の妻、あるいは、その男奴隷、女奴隷、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを、欲しがってはならない。」（出エジプト20：17）

問12. 2 満ち足りることは、非常に大切なクリスチャンの美德ですか。

はい；「満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道」であるからです（テモテ第一6：6；7～10節も見ること）

問12. 3 貧しくても満ち足りることはできますか。

はい、そのとおりです！——「乏しいからこう言うものではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。私は、貧しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にいる道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。」（ピリピ4：11～12）

問12. 4 貧しい境遇でも満ち足りることを、私たちは特にだれから学ぶことができますか。

神の御子である、主イエス・キリストからです。——イエスさまはこう言われました：「狐には穴があり、空の鳥には巣があるが、人の子には枕する所もありません。」（マタイ8：20）

問12. 5 貧しいことは、どのようなばあいでも、富んでいるよりも良いことですか。

いいえ；必ずしもそうではありません。——「不真実と偽りとを私から遠ざけてください。貧しさも富も私に与えず、ただ、私に定められた分の食料で私を養ってください。私が食べ飽きて、あなたを否み、『主とはだれだ。』と言わないために。また、私が貧しくて、盗みをし、私の神の御名を汚すことのないために。」（箴言30：8～9）

問12. 6 満ち足りるということは、貧しいとか富んでいるとか、ということだけのことで
すか。

いいえ；私たちの状態や評判についてもそうです。——「兄弟たち。おのこの召されたときのままの状態、神の御前にいなさい。」（コリント第一7：24）；「互いにいどみ合ったり、そねみ合ったりして、虚栄に走ることのないようにしましょう。」（ガラテヤ5：26）

問12. 7 私たちは満ち足りるために、どのように励ましを受けることができますか。

主がいつも私たちと共にいてくださる、という主の約束を覚えていることによってです。——「金銭を愛する生活をしてはいけません。いま持っているもので満足しなさい。主ご自身がこう言われるのです。『わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない』。」（ヘブル13：5）

第 13 課

感謝の気持ちと感謝

問13. 1 感謝することは聖書で命じられていますか。

はい；聖書の多くの箇所です。——「すべての事について、感謝なさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」（テサロニケ第一5：18）

問13. 2 感謝の気持ちを表すことはとても大切なことですか。

はい；主が十人のツアラトに冒された人をいやされた時、たった一人だけが感謝をするために主のところに戻ってきました。主はその一人を喜ばれましたが、他の9人のことは喜ばれませんでした。——そこでイエスは言われました。「十人いやされたのではないか。九人はどこにいるのか。神をあがめるために戻って来た者は、この外国人のほかには、だれもいないのか。」（ルカ17：17～18）

問13. 3 私たちは神さまに、どのように感謝の心を表したらよいでしょうか。

主イエス・キリストの御名によって感謝をささげることによってです。——「ですから、私たちはキリストを通して、賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえるくちびるの果実を、神に絶えずささげようではありませんか。」（ヘブル13：15；参照 コロサイ1：8；コロサイ3：17；詩篇100：4）

問13. 4 仲間の信者たちの友情について、神さまに感謝すべきでしょうか。

はい、もちろんです。私たちも、ピリピ人に次のように言った使徒パウロのようではなくてはいけません：「私は、あなたがたのことを思うごとに私の神に感謝しています。」（ピリピ1：3）

問13. 5 食べ物をいただく前に、感謝をささげることは大切なことでしょうか。

はい；私たちの主イエス・キリストは、いつでも食べる前に感謝をささげられました。——たとえば、主が4千人に食べさせた時には、「イエスは群衆に、地面にすわるようにおっしゃった。それから、七つのパンを取り、感謝をささげてからそれを裂き、人々に配るように弟子たちに与えられたので、弟子たちは群衆に配った。」（マルコ8：6）

問13. 6 声に出して神さまに感謝することが、神さまに感謝を表すたった一つの方法ですか。

いいえ；感謝をもって、クリスチャン生活を送らなくてはなりません。——「あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあって歩みなさい。キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおりの信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。」（コロサイ2：6～7）；「キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。」（ヨハネ第一3：16）

問13. 7 私たちによくしてくれる仲間の人たちにも、私たちは感謝の心を表すべきでしょうか。

はい；聖書の敬虔な人々の模範に従うべきです。——たとえば、ソロモンに次のように言ったダビデを見習うべきです：「ギルアデ人バルジライの子らには恵みを施してやり、彼らをあなたの食事の席に連らせなさい。私がある兄弟アブシャロムの前から逃げたとき、彼らは私の近くに来てくれたからだ。」（列王記第一2：7）

第 14 課

赦 し

問 1 4. 1 私たちはなぜ、互いに赦し合わなくてはならないのですか。

神さまが私たちが赦してくださったからです。——「お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。」（エペソ 4：32）

問 1 4. 2 あなたが赦さなくてはいけないのはだれですか。

私に対する過ちを悔い改めて私のところに来る人はだれでも赦さなくてははいけません。——「気をつけていなさい。もし兄弟が罪を犯したなら、彼を戒めなさい。そして悔い改めれば、赦しなさい。」（ルカ 17：3）

問 1 4. 3 あなたに対して罪を犯す兄弟を、何度まで赦さなくてははいけませんか。

赦しを求めて来るたび何度でも。——使徒ペテロが尋ねた時のことです。「『主よ。兄弟が私に対して罪を犯したばあい、何度まで赦すべきでしょうか。七度まででしょうか。』イエスは言われた。『七度まで、などとはわたしは言いません。七度を七十倍するまでと言います。』」（マタイ 18：21～22）

問 1 4. 4 もし兄弟があなたに対して同じ罪を犯しては、悔い改め続けるばあいはどうですか。

それでも私は赦さなくてははいけません。主がこう言っておられるからです：「かりに、あなたに対して一日に七度罪を犯しても、『悔い改めます。』と言って七度あなたのところに来るなら、赦してやりなさい。」（ルカ 17：4）

問 1 4. 5 もしあなたがだれかを赦すことを拒むとしたらどうですか。

あくまでも赦さないのであれば、私は神さまの子供ではあり得ません。——主がこう言っておられるからです；「もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してください。しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません。」

（マタイ 6：14～15；参照 マルコ 11：25～26）

問14. 6 もしだれかがあなたに悪いことをしても、赦してくれるようにあなたに頼まないとしたら、どうしますか。

それでも恨みに思ったり、仕返しを考えたりしてはいけません。——というのは、主がこうっておられるからです：「復讐はわたしのすることである。」（ローマ12：19）そしてヤコブはこう言いました：「兄弟たち。互いにつぶやき合ってはいけません。さばかれないためです。見なさい。さばきの主が、戸口のところに立っておられます。」（ヤコブ5：9）

第 15 課

怒り

問15. 1 怒りはいつでも罪ですか。

いいえ；なぜならイエスさまは怒られましたが、罪は犯されませんでした（マルコ 3：5；ヘブル3：15）、また、使徒パウロが「怒っても、罪をおかしてはなりません。」（エペソ4：26a）と言っているからです。

問15. 2 怒りが罪となるのは、どういう時ですか。

怒りが自分勝手なものであったり、不当であったり過度のものであったりする時です。——主イエスさまはこう言っておられます：「昔の人々に、『人を殺してはならない。人を殺す者はさばきをうけなければならない。』と言われたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。兄弟に向かって腹を立てる者は、だれでもさばきを受けなければなりません。」（マタイ5：21～22a）

問15. 3 どんな理由であれ、何日も怒ったままでいることはよいことでしょうか。

いいえ；悪魔がその機会に付けこんでくるかもしれないからです。——「日が暮れるまで憤ったままでいてはいけません。悪魔に機会を与えないようにしなさい。」（エペソ4：26b～27）

問15. 4 だれかがあなたをいらだたせることをしたら、どうするべきでしょうか。

私は自制心を働かさなくてははいけません。——「怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は町を攻め取る者にまさる。」（箴言16：32）

問15. 5 だれかがあなたを傷つけることを言ったら、どうするべきでしょうか。

私は怒らないようにして、できればその人の言葉を寛大にみてあげるようにしなくてははいけません。——「人に思慮があれば、怒りをおそくする。その人の光栄は、そむきを赦すことである。」（箴言19：11）

問15. 6 友達との怒りに満ちたけんかを避けるために、あなたは何ができますか。

怒りの言葉にたいして、怒りの言葉を返さないことです。——「愚かな者は怒りをぶちまける。しかし知恵のある者はそれを内におさめる。」（箴言29：11）

問15. 7 もしあなたがだれかとけんかしているのであれば、そのけんかをやめるために、あなたは何ができますか。

柔らかく優しく話すことです。——「柔らかな答えは憤りを静める。しかし激しいことばは怒りを引き起こす。」（箴言15：1）

問15. 8 友達とのいざこざを、すばやく解決することは、大切なことですか。

はい；手におえないほど大きな問題にしてはいけないからです。——「争いの初めは水が吹き出すようなものだ。争いが起こらないうちに争いをやめよ。」

（箴言17：14）

問15. 9 もしだれかがあなたに対して怒っていたら、どうすればよいですか。

私はその人と仲直りをするように努めなくてはなりません（マタイ5：23～24；18：15）；また、贈り物が助けになるかもしれません。「ひそかな贈り物は怒りをなだめる。」（箴言21：14）からです。

第 16 課

忠実と責任感

問16. 1 忠実 (faithfulness) は、信仰 (faith) と同じことですか。

いいえ；信仰は信じることであり、忠実さとは約束や義務に忠実であることです。——神さまはご自分の約束を守られるので、忠実であると言われます。それで、詩篇作者はこう言っています：「私は、主の恵みを、とこしえに歌います。あなたの真実 (faithfulness) (忠実さ) を代々限りなく私の口で知らせます。」（詩篇89：1）

問16. 2 私たちは特にだれから忠実さと責任感を学ぶことができますか。

ご自分のお父様に忠実であった、主イエスさまからです。——「モーセが神の家全体のために忠実であったのと同様に、イエスはご自分を立てた方に対して忠実なのです。」（ヘブル3：2）

問16. 3 主の忠実なしもべであるということは、どういうことですか。

主が私にくださった賜物を用いて、私の人生を主のために生きる、ということです。——賜物についての主のたとえに登場する主人は、その忠実なしもべにこう言いました：「よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんの物を任せよう。主人の喜びをともに喜んでくれ。」（マタイ25：21、参照 23節）

問16. 4 自分の言葉に忠実であるとは、どういうことですか。

本当のことを言う、ということです。——「真実な証人はまやかしを言わない。偽りの証人はまやかしを吹聴する。」（箴言14：5）

問16. 5 信者仲間に忠実であるとは、どういうことですか。

特に彼らを助けるということです。——使徒ヨハネはガイオをほめて言いました：「愛する者よ。あなたが、旅をしているあの兄弟たちのために行なっているいろいろなことは、真実な行ないです。」（ヨハネ第三5節）

問16. 6 家庭において忠実であるとは、どういうことですか。

宿題をすることや、部屋をきれいにしておくなどの小さなことにおいても、責任を持ってすることです。——「小さな事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です。」（ルカ16：10）

問16. 7 あなたが家庭で責任を持って行動すると、すぐにどんな結果が起こりますか。

両親の信頼を得るので、不必要な小言を言われなくなります。——ヨアシュの時代に、祭司は忠実な労働者たちを信頼しました。なぜなら「工事する者に支払うように金を渡した人々と、残高を勘定することもしなかった。彼らが忠実に働いていたからである。」（列王記第二12：15）

問16. 8 忠実さは、この世でも報いのある美徳でしょうか。

はい；「忠実な人は多くの祝福を得る。しかし富を得ようとあせる者は罰を免れない。」（箴言28：20）

第 17 課

忠 誠

問17. 1 忠誠であることは、クリスチャンの美德ですか。

はい；特に困難の時の、個人や教会、また国に対する、愛と忠実さのことを言っています。——「友はどんなときにも愛するものだ。兄弟は苦しみを分け合うために生まれる。」（箴言17：17）

問17. 2 どのようにして忠実な友人になれるかを、私たちはだれから学ぶことができますか。

主イエス・キリストからです。——ソロモンは次のように言った時、主イエスさまのことを言っていたのです：「滅びに至らせる友人たちもあれば、兄弟よりも親密な者もいる。」（箴言18：24）

問17. 3 困難になかにある友人に、忠誠であるとか、忠実であるということは、どういうことですか。

ヨナタンが、自分の父がダビデを殺そうとしていた時にダビデを守ったように、友人を守ることです。——「ヨナタンは父サウルにダビデの良いことを話し、父に言った。『王よ。あなたのしもべダビデについて罪を犯さないでください。彼はあなたに対して罪を犯してはいません。かえって、彼のしたことは、あなたにとっては非常な益となっています』。』（サムエル第一19：4）

問17. 4 罪を犯した友人に、忠誠であるとか、忠実であるということは、どういうことですか。

愛をもって忠告することです。——「あからさまに責めるのは、ひそかに愛するのにまさる。憎む者が口づけしてもてなすよりは、愛する者が傷つけるほうが真実である。」（箴言27：5～6）

問17. 5 あなたに秘密を打ち明ける人に、忠誠であるとか、忠実であるということは、どういうことですか。

秘密を守る、ということです。——「歩き回って人を中傷する者は秘密を漏らす。しかし真実な心の人には事を秘める。」（箴言11：13）

問17. 6 聖書の中には、国や地方行政に対して忠誠を示している例がありますか。

はい；ダビデは、サウル王が自分を殺そうとしているにも関わらず、王の命を助けました。——ダビデはサウルに言いました：「実はきょう、いましがた、主があこのほら穴で私の手にあなたをお渡しになったのを、あなたはご覧になったのです。ある者はあなたを殺そうと言ったのですが、私は、あなたを思って、『私の主君に手を下さすまい。あの方は主に油そそがれた方だから。』と申しました。」（サムエル第一24：10）

問17. 7 聖書は不忠実を非難していますか。

はい、その通りです。「苦難の日に、裏切り者に拠り頼むことは、悪い歯や、なえた足を頼みとするようなものだ。」（箴言25：19）

問17. 8 私たちはどこまで、忠誠を尽くすべきでしょうか。

正義と真実の範囲内で、尽くすべきです。なぜなら、愛は「不正を喜ばずに真理を喜びます。」（コリント第一13：6）

第 18 課

秩序と規律

問18. 1 秩序正しさは、クリスチャンの美德ですか。

はい；使徒パウロは私達にこう命じています：「ただ、すべてのことを適切に、秩序をもって行ないなさい。」（コリント第一14：40）

問18. 2 規律は秩序正しさと関係がありますか。

はい；規律を守ることは、自分の行動に厳しく秩序を守ることです。——使徒パウロは規律の大切さを知っていました。彼はこう言っています：「私は自分のからだを打ちたいて従わせます。それは、私がほかの人に宣べ伝えておきながら、自分自身が失格者になるようなことのないためです。」（コリント第一9：27）

問18. 3 秩序のないなまけた生活は罪ですか。

はい；使徒パウロはテサロニケの人々に、秩序もなくなまけている兄弟から離れるように言いました。——「主イエス・キリストの御名によって命じます。締めりのない歩み方をして私たちから受けた言い伝えに従わないでいる、すべての兄弟たちから離れていなさい。」（テサロニケ第二3：6）

問18. 4 あなたの人生において秩序のある生活をすることは大切なことですか。

はい；主がこう言っておられます：「感謝のいけにえをささげる人は、わたしをあがめよう。その道[すなわち人生]を正しくする人に、わたしは神の救いを見せよう。」（詩篇50：23）

問18. 5 主イエスさまは私たちに、秩序の模範を示してくださいましたか。

はい；5千人の人に食事を与えられた時のことです。——「イエスは、みなを、それぞれ組にして青草の上にすわらせるよう、弟子たちにお命じになった。そこで人々は、百人、五十人と固まって席についた。」（マルコ6：39～40）

問18. 6 主イエスさまは私たちに、規律正しいことの模範を示してくださいましたか。

はい；主は祈るためにとても早く起きることが日々の習慣でした。——マルコがこう言っています：「さて、イエスは、朝早くまだ暗いうちに起きて、寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。」（マルコ1：35）

問18. 7 あなたが、規律正しいクリスチャン生活を築くための一つの方法をあげてください。

主の前に決心します：「主よ。朝明けに、私の声を聞いてください。朝明けに、私はあなたのために備えをし、見張りをいたします。」（詩篇5：3）

問18. 8 あなたはどのように、自分のクリスチャン生活において秩序正しさを養うことができますか。

家で、学校で、また教会で何をするにも、秩序正しく、きれいに、きちんとするように心がけます。——「それは、神が混乱の神ではなく、平和の神だからです。」（コリント第一14：33）

第 19 課

忍耐と辛抱

問19. 1 忍耐（嬉しい気持ちで待つこと）と辛抱（喜んで苦しみに耐えること）は、クリスチャンの大切な美德ですか。

はい；使徒パウロはコロサイの人々が「神の栄光ある権能に従い、あらゆる力をもって強くされて、（喜びをもって）忍耐と寛容を尽く」すように祈りました（コロサイ1：11）

問19. 2 私たちは、特にだれから忍耐と辛抱を学ばなくてははいけませんか。

主イエス・キリストからです。——「こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走と忍耐をもって走り続けようではありませんか。信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをもものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。」（ヘブル12：1～2）

問19. 3 主イエスさまは、どのようにして忍耐と辛抱とをあらわされましたか。

「彼は痛めつけられた。彼は苦しんだが、口を開かない。ほふり場に引かれて行く子羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。」（イザヤ53：7）

問19. 4 ほかのだれから、私たちは忍耐と辛抱を学ぶことができますか。

ヨブと預言者たちからです。——「苦難と忍耐については、兄弟たち、主の御名によって語った預言者たちを模範にきなさい。見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いであると、私たちは考えます。あなたがたは、ヨブの忍耐のことを聞いています・・・。」（ヤコブ5：10～11a）

問19. 5 クリスチャンはどのように困難に立ち向かうべきですか。

喜びと忍耐を持ってです。——「私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰がためされると忍耐が生じるということ、あなたがたは知っているからです。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。」（ヤコブ1：2～4；参照 ローマ5：3～4；ペテロ第一2：20も見ること）

問19. 6 人々が感謝をしてくれないからといって、良い行ないをやめるべきでしょうか。

いいえ；使徒パウロはこう言っているからです：「善を行なうのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることにになります。」（ガラテヤ6：9）

問19. 7 クリスマンとして生きることや、問答書を覚えることは、本当に大変です。どうすべきでしょうか。

主にあって忍耐強くありなさい。——「主の救いを黙って待つのは良い。人が、若い時に、くびきを負うのは良い。」（哀歌3：26～27）

問19. 8 神さまはあなたが助けを求めて叫ぶのを聞いておられないように見えることがあります。どうすべきでしょうか。

忍耐強く、主を待つのです。——「私は切なる思いで主を待ち望んだ。主は、私のほうに身を傾け、私の叫びをお聞きになった。」（詩篇40：1；参照 37：7）

第 20 課

勤勉さと根気強さ

問20. 1 勤勉に働くことと、すべてのことをきちんとすることは、クリスチャンの美德ですか。

はい；聖書がこう命じているからです：「あなたの手もとにあるなすべきことはみな、自分の力でしなさい。」（伝道者の書9：10）

問20. 2 聖書は、勤勉に働くことと、きちんと仕事をするを、何から学ぶことができると言っていますか。

蟻からです。——「なまけ者よ。蟻のところへ行き、そのやり方を見て、知恵を得よ。蟻には首領もつかさも支配者もないが、夏のうちに食物を確保し、刈り入れ時に食料を集める。」（箴言6：6～8）

問20. 3 どんな態度で、家庭、学校、教会でのすべての義務を果たさなくてははいけませんか。

「何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心からしなさい。」（コロサイ3：23）

問20. 4 勤勉に働き、きちんと仕事をするために、どのような励みがありますか。

私たちの物で、主に仕えることができます。——たとえば、困った人を助けることができます；というのは、パウロがこう言っているからです：「盗みをしている者は、もう盗んではいけません。かえって、困っている人に施しをするため、自分の手をもって正しい仕事をし、ほねおって働きなさい。」（エペソ4：28；参照 使徒20：35）

問20. 5 主はこの地上の人生においても、きちんとした仕事をする人々に報いてくださいますか。

はい；ソロモンがこう言っているからです：「じょうずな仕事をする人を見たことがあるか。その人は王の前には立つが、身分の卑しい人の前には立たない。」（箴言22：29）

問20. 6 なまけていると、その結果どういうことになりますか。

貧しくなり、みじめな生活をするようになります。——「しばらく眠り、しばらくまどろみ、しばらく手をこまねいて、また休む。だから、あなたの貧しさは浮浪者のように、あなたの乏しさは横着者のようにやって来る。」（箴言24：33～34）

問20. 7 私たちは、毎日勤勉に働くことを求められていますか。

いいえ；安息日には休み、それを聖なる日としなくてははいけません。——「しかし七日目は、あなたの神、主の安息である。あなたはどんな仕事もしてはならない。あなたも、あなたの息子、娘、それにあなたの男奴隷や女奴隷、家畜、またあなたの町囲みの中にいる在留異国人も。」（出エジプト20：10）

問20. 8 それは、安息日には勤勉でなくてもよい、ということでしょうか。

いいえ；敬虔とあわれみの働きに勤勉でなくてははいけません。——「望みを抱いて喜び、患難に耐え、絶えず祈りに励みなさい。」（ローマ12：12）

第 21 課

知 恵

問21. 1 知恵は、クリスチャンの美德ですか。

はい；知恵とは、神さまの考え方で考えることです。——「主を恐れることは、知恵の初め。これを行なう人はみな、良い明察を得る。主の誉れは永遠に堅く立つ。」（詩篇111：10）

問21. 2 私たちは知識を得ることができますが、知恵も得ることもできますか。

はい、できます。——「知恵の初めに、知恵を得よ。あなたのすべての財産をかけて、悟りを得よ。」（箴言4：7）

問21. 3 知恵は、どのように得ることができますか。

神さまの御言葉を読んだり聞いたりすることから得ることができます。——「主が知恵を与え、御口を通して知識と英知を与えられるからだ。」（箴言2：6；参照 箴言5：1）

問21. 4 知恵を得るには、御言葉を読んだり聞いたりするだけで十分ですか。

いいえ；主に知恵を与えてくださるようお願いしなくてははいけません。——「あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきっと与えられます。」（ヤコブ1：5；歴代誌第二1：7～12も見ること）

問21. 5 あなたは、どのように賢く生活できますか。

神さまの命令を守ることによってです。——「あなたの仰せは、私を私の敵よりも賢くします。それはとこしえに、私のものだからです。」（詩篇119：98）

問21. 6 ある状況にどの律法を当てはめたらいいのか分からず、また相談する人もいないばあいどうしますか。

主がその状況で私にどうすることを望んでおられるのか、祈り、考えます。——「主を恐れることは知恵の初め、聖なる方を知ることは悟りである。」（箴言9：10；参照 箴言1：7）

問21. 7 お母さんとお父さんは、どのようにあなたが知恵において成長することを助けてくれますか。

父と母は、私が愚かな行ないや罪深い行ないをすると、懲らしめてくれます。——「むちと叱責とは知恵を与える。わがままにさせた子は、母に恥を見させる。」（箴言29：15）

問21. 8 幸せなクリスチャン生活に、知恵は大切なものでしょうか。

はい；「幸いなことよ。知恵を見いだす人、英知をいただく人は。」
（箴言3：13）

問21. 9 友達と良い関係を保つのに、知恵は必要ですか。

はい；なぜなら「隣人をさげすむ者は思慮に欠けている。しかし英知のある者は沈黙を守る。」からです（箴言11：12）

第 22 課

個人的な^{きよ}聖さ

問22. 1 あなたが^{きよ}聖いということは、どういうことですか。

ことばと行ないと思ひにおいて、イエス・キリストに似た者となるように、そして世とは異なった者になるようにふるまうことです。——「あなたがたを召してくださった聖なる方にならって、あなたがた自身も、あらゆる行ないにおいて聖なるものとされなさい。それは、『わたしが聖であるから、あなたがたも、聖でなければならぬ。』と書いてあるからです。」（ペテロ第一：15～16）

問22. 2 すべてのクリスチャンは、キリスト・イエスにあって、すでに^{きよ}聖い者ではありませんか。

はい、私たちはキリストにあって義と認められているので「聖徒」と呼ばれているのです。それは、「聖い者」という意味です；しかし、私たちには、聖い生活を送る責任があります。——「すべての人との平和を追い求め、また、聖められることを追い求めなさい。聖くなければ、だれも主を見ることができません。」（ヘブル12：14）

問22. 3 義と認められた人が、まったく^{きよ}聖くないことがあり得るでしょうか。

いいえ；キリストにあって義と認められた人はまた、聖化、または聖さにおいて成長するものです。義と認められたと言いながら、個人的な聖さをまったく持ってない人は偽りを言っているのです——「あなたがたがよく見て知っているとおおり、不品行な者や、汚れた者や、むさぼる者——これが偶像礼拝者です。——こういう人はだれも、キリストと神との御国を相続することができません。」（エペソ5：5）

問22. 4 人が^{きよ}聖さにおいて成長するためには、新しく生まれなくてははいけませんか。

はい、義と認められた人は、再生された人です。——使徒パウロが次のように言っているのは、再生された人に言っていることです：「しかし今は、罪から解放されて神の奴隷となり、聖潔に至る実を得たのです。その行き着く所は永遠のいのちです。」（ローマ6：22）

問22. 5 あなたはどのように、聖さにおいて成長できますか。

神さまのみことばを読んだり聞いたりすることによってです。——主イエスさまはこう祈られました：「真理によって彼らを聖め別ってください。あなたのみことばは真理です。」（ヨハネ17：17）；また、使徒パウロはこう言っています：「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」（テモテ第二3：16～17）

問22. 6 聖さにおいて成長するために、神さまのみことばを読んだり聞いたりする他に、何をしなくてははいけませんか。

神さまのみことばを、実行しなくてははいけません。——「そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。」

（ローマ12：1～2）

第 23 課

節制と自制

問23. 1 節制は、クリスチャンの美德ですか。

はい、それはクリスチャンが培わなくてはならないことです。——「こういうわけですから、あなたがたは、あらゆる努力をして、信仰には徳を、徳には知識を、6 知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、7 敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。8 これらがあなたがたに備わり、ますます豊かになるなら、あなたがたは、私たちの主イエス・キリストを知る点で、役に立たない者とか、実を結ばない者になることはありません。」（ペテロ第二 1：5～8）

問23. 2 節制や自制は、恵みのしるしの一つですか。

はい、新しく生まれた者は、自分の激しい感情や欲望を制する方法を知るべきです。——「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。」（ガラテヤ 5：22～23）

問23. 3 節制はどのようにして培うことができますか。

自分はキリストに属する者であることを、いつも覚えていることによってです。——「主イエス・キリストを着なさい。肉の欲のために心を用いてはいけません。」（ローマ 13：14）

問23. 4 節制や自制を私たちが学ぶことのできる、よい模範はだれですか。

預言者ダニエルです。——「ダニエルは、王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定め、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願った。」（ダニエル 1：8）

問23. 5 子供として、あなたはどの分野で自制を働かさなくてははいけませんか。

神さまに罪を犯すことにつながるような快樂のどんな分野においても、自制を働かさなくてははいけません。時間を無駄にすることや自分の身体を大切にしないこと、たとえば、テレビを見たり、遊びすぎたり、また、甘い物を食べすぎたりすることも、です。——ソロモンはこう言っています：「蜜を見つけたら、十分食べよ。しかし、食べすぎて吐き出すことがないように。」（箴言25：16）

問23. 6 ほかの人と関わるときにも、自制を働かさなければなりませんか。

はい、だれかが私をいらだたせても、自分の怒りや舌を制することを学ばなくてははいけません。——「愚かな者は怒りをぶちまける。しかし知恵のある者はそれを内におさめる。」（箴言29：11）

問23. 7 あなたが成長するにつれて、特に自制を働かせるよう気をつけなくてははいけないのは、人生のどの分野ですか。

身体の純潔の分野です。——「不品行を避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のもので。しかし、不品行を行なう者は、自分のからだに対して罪を犯すので。」（コリント第一6：18）

第 24 課

よく祈ること

問24. 1 いつも祈っていることは、クリスチャンの美德ですか。

はい；よく祈ることは、本当の回心の証しであるからです。——「主を呼び求める者すべて、まことをもって主を呼び求める者すべてに主は近くあられる。」（詩篇145：18）

問24. 2 信じていない人もまた、熱心に祈るのではないですか。

はい；しかし彼らは偶像や、人が想像で作り出した神々に祈っているのです。——生まれながらの人は生きておられる真の神さまを呼び求めることはありません。「私たちはみな、汚れた者のようになり、私たちの義はみな、不潔な着物のようです。私たちはみな、木の葉のように枯れ、私たちの咎は風のように私たちを吹き上げます。しかし、あなたの御名を呼ぶ者もなく、奮い立って、あなたにすぎる者もいません。」（イザヤ64：6～7a）

問24. 3 あなたはどのように、いつも祈ることを養うことができますか。

大切なやり方の一つは、主イエスさまのように、毎日早く起きてお祈りすることです。——「さて、イエスは、朝早くまだ暗いうちに起きて、寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。」（マルコ1：35）

問24. 4 朝にだけ祈るべきでしょうか。

いいえ、「絶えず祈る。」べきです（テサロニケ第一5：17）

問24. 5 絶えず祈る、とはどういう意味ですか。

機会がある毎に祈るということです。また、預言者ダニエルのように、規律正しい祈りの生活を送るということでもあります。——「[ダニエルは] いつものように、日に三度、ひざまずき、彼の神の前に祈り、感謝していた。」（ダニエル6：10）

問24. 6 祈る時にはいつも、頭を下げ、目を閉じなくてははいけませんか。

いいえ；ネヘミヤが、王の質問に答える前に祈ったことがよい例です。——「すると王は私に言った。『では、あなたは何を願うのか。』そこで私は、天の神に祈ってから、王に答えた。」（ネヘミヤ2：4～5）

問24. 7 何をどのように祈ったらよいのか分からない時はどうですか。

聖霊様が私を助けてくださいます。——「26 御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいます。27 人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。」（ローマ8：26～27）

第 25 課

識別力

問25. 1 識別力を持つことは大切でしょうか。

はい；使徒ヨハネがこう言っています：「愛する者たち。霊だからといって、みな信じてはいけません。それらの霊が神からのものかどうかを、ためしなさい。なぜなら、にせ預言者がたくさん世に出て来たからです。」（ヨハネ第一4：1）

問25. 2 主イエスさまは「さばいてはいけません。さばかれたいからです。」と言われなかったでしょうか。

はい、しかしまたこうもおっしゃいました：——「うわべによって人をさばかないで、正しいさばきをなさい。」（ヨハネ7：24）

問25. 3 私たちが識別力を持たないと、どうなりますか。

簡単に正しい道からそれてしまいます。——私たちは「子供のよう、人の悪巧みや、人を欺く悪賢い策略により、教えの風に吹き回されたり、波にもてあそばされたりする。」でしょう。（エペソ4：14）

問25. 4 どのように識別力を実践できますか。

「すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。」（テサロニケ第一5：21）

問25. 5 どのようにすべてのことを確かめることができますか。

聖書に尋ねることによってです。——「おしえとあかしに尋ねなければならない。もし、このことばに従って語らなければ、その人には夜明けがない。」（イザヤ8：20）

問25. 6 すべてのことを確かめるために、どのように聖書を用いることができますか。

聖書のことばや聖書の問答書を私の心にたくわえることによってです。——「あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。」

(詩篇119:11)

問25. 7 そのほかに、どのように識別力をきたえることができますか。

私たちが霊的に成長し、識別力を持つことができるように、主は牧師や教師たちを与えてくださっています。私は彼らから学ぶことができます；また彼らの教えることを、聖書に尋ね、ベレアの人々のようになります。——「このユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも良い人たちで、非常に熱心にみことばを聞き、はたしてそのとおりかどうかと毎日聖書を調べた。」(使徒17:11)

問25. 8 あなたが避けなくてはいけない先生や牧師がいますか。

はい；彼らの多くは、羊の皮をかぶった狼なのです。——「17兄弟たち。私はあなたがたに願います。あなたがたの学んだ教えにそむいて、分裂とつまずきを引き起こす人たちを警戒してください。彼らから遠ざかりなさい。18 そういう人たちは、私たちの主キリストに仕えないで、自分の欲に仕えているのです。彼らは、なめらかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましています。」(ローマ16:17~18)